

## 令和2年度 晃陽学園高等学校 自己評価表

教育目標		1. 自己の抑制力や逆境に対する耐性を養う。 2. 自然環境および物を大切にすることを養う。 3. 自己中心的な考えや行為をなくし、他人に対する思いやりの心を養う。			
重点努力目標		・ 基本的生活習慣の確立（教職員の共通理解による生徒指導体制の充実、社会性と公共心の育成、挨拶運動・服装指導の実施） ・ 特別活動の充実（生徒会活動・部活動等の充実、地域の行事等への積極的な参加、生徒を中心とした企画内容の検討） ・ 保護者および家庭との連携（不登校生徒等個人の状況に合わせたサポートおよび家庭との連携、保護者会活動の充実） ・ 進路活動の充実（職業観・勤労観の育成、保護者と連携した進路指導、資格取得検定合格、専門学校・企業との連携）			
	評価項目	具体的目標	評価	目標達成状況	次年度の主な課題
1	教 務	1. 生徒の学力に応じたわかりやすい授業を行う。	B	・ 単元の中で基本学力定着を重点的に始動した。テスト前に範囲を振り返り、知識の定着につなげた。 ・ 学力が低い生徒にも理解できるよう、内容に十分気をつけて授業を行っている。	・ 基礎を重視しつつ、さらに生徒の興味を持たせるような授業展開をする。 ・ 授業ノートのチェック、ワークの提出は習慣化しているが、より質の高いものとなるようにしていく。 ・ 学力層の高い生徒への課題提示をしていく。
		2. 授業目標を明確にし、生徒の興味・関心を高めながら学習意欲の向上を図る。	B		
		3. 自学自習の習慣化、レポートへの自主的な取り組みの向上を図る。	B		
2	生活指導	1. 挨拶や服装指導、公共マナーの向上と社会的規範の遵守を図る。	B	・ 服装に関しては毎日チェックをしたが、一部の生徒に違反が続いた。毎日クラスの生徒と会話するように心がけた。 ・ 定期的に身だしなみチェックを行い、指導している。 ・ 日常的に生徒に声をかけ、一人ひとりの様子を把握するようにしている。	・ 身だしなみチェックがその場限りにならないよう対応を考えていく。 ・ 校内でのあいさつの重要性を積極的に周知していく。 ・ 学校慣れについて、生徒の自主性を育てる上で見直しが必要である。
		2. 日頃から生徒とのコミュニケーションを密にし、信頼関係づくりに努める。	B		
		3. 学校生活全般について、保護者との密接な連携の取れた指導を行う。	C		
3	進路指導	1. 生徒の適性・価値観を大切にし、一人ひとりに適した進路実現をサポートする。	B	・ 1年生の時点での高校卒業後の進路について調査をし、授業の中で常に3年次の資格試験を意識付けさせた。 ・ 少人数なので、個人の適性を考えながら十分な時間をとり指導している。 ・ 適性を見極め、押し付けにならないしどろができた。	・ 2年生では「進路」に向けて意識付けを行い、今やるべきことについて自主的に判断する力を身に付けさせるべきである。 ・ 就職・進学について教員自らの知識を増やし、深め、生徒に指導できるようにする。 ・ 少人数制を利点とし、担任以外の教員も生徒の状況把握していきたい。
		2. 進路情報の提供等や職業講演等を実施し、3年間を見通した進路指導を行う。	A		
		3. 進学希望者に対する指導の充実（オープンキャンパス・体験入学等への参加）	B		
4	特別活動	1. 充実した学校行事の実施を通して生徒同士の信頼関係や豊かな心を育む。	B	・ コロナ禍で学校行事が中止になるなか、スポーツ大会を開催でき親睦を深められた。 ・ 部活動も中止にしていたので活動は出来ていない。	・ 生徒主導の企画の実施。自発的な活動にも期待したい。 ・ 生徒が達成感を感じることができるようレベルの高いものを作り上げていきたい。 ・ 感染症対策の注意も考慮する。
		2. 部活動や生徒会活動の活性化を図り、積極的な参加を促す。	C		
5	保 健	1. 清掃活動等を通して美化意識の向上を図る。	B	・ 日々の清掃や大掃除を行い、校舎内の美化に努めることができた。 ・ 感染症予防の意識を持たせることに注力できた。	・ 日常生活において意識的に清潔を保つようにしたい。 ・ 現状を継続して行う。生徒はよく取り組んでいる。
		2. 健康診断の実施、講演等を通して健康・安全に対する知識や意識の向上を図る。	B		
6	入 試 広 報	1. 校内イベント（体験入学・学校説明会等）の充実を図る。	B	・ 体験入学で学校に対して良いイメージを持って頂けるよう努めている。 ・ 感染症予防の観点から、実施の際の動静にもう少し改善が必要である。	・ 在校生との交流をメインに打ち出していきたい。 ・ 積極的に発案し、周囲の意見を取り入れながら、良い形を作っていきたい。
		2. 学校案内資料・ウェブサイト等の内容をより充実させるために工夫・努力する。	C		

「評価」…A（十分達成できている）、B（達成できている）、C（概ね達成できている）、D（不十分である）、E（来ていない）